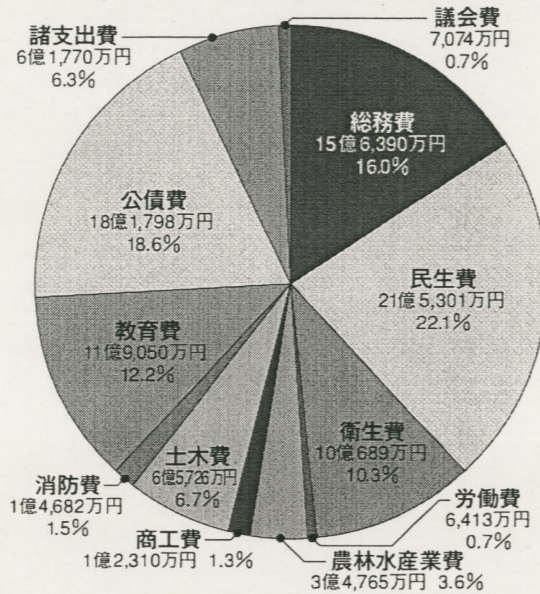


用語の解説

- 議会費… 議会の活動に要する経費
- 総務費… 全般的な管理事務、徴税事務、住民窓口事務など町が通常必要とする総合的な事業費
- 民生費… 子育て支援や高齢者福祉、障害者福祉など
- 衛生費… 各種予防接種や健康診断、母子保健、公害対策、環境衛生など
- 労働費… 就労支援に要する経費
- 農林水産業費… 農林道の管理や農林業の振興、農業委員会経費など
- 商工費… 商工業や観光の振興など
- 土木費… 町道や河川、町営住宅の維持管理など
- 消防費… 消防団活動経費や防火水槽の設置など
- 教育費… 学校教育費、生涯学習費、生涯スポーツ費など
- 公債費… 借入金(町債)の元金や利子の支払い

平成22年度

一般会計歳出 97億5,968万円



一般会計の歳出決算の状況

昨年度と比較し、歳出全体では3億8713万円の減額となりました。減額の要因としては、民生費における社会保障関係経費の増額、公債費については繰り上げ償還を行ったことによる増額と比べて、総務費については定額給付金事業終了により2億191万円の減額、土木費、農林水産業費については、国の地域活性化事業終了により3億7千万円減額したことが大きく上回ったことによるものです。

財政健全化にむけて

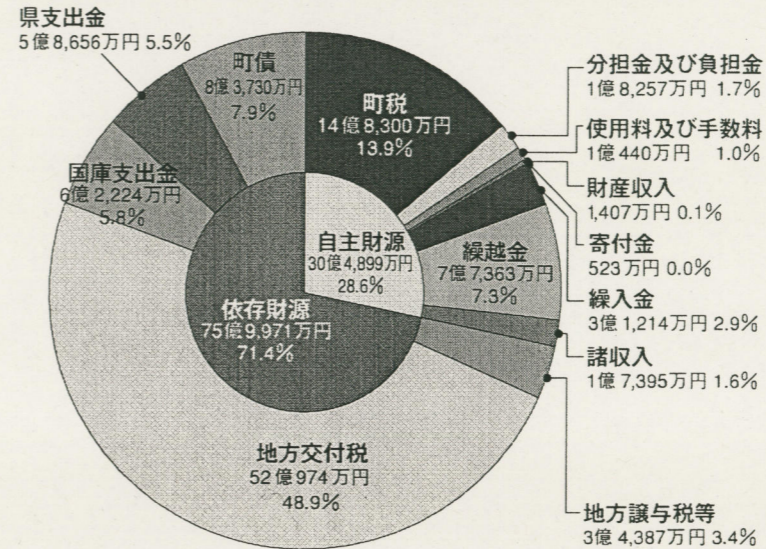
9月定例議会において、平成22年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を報告いたしました。本町において、これらの比率は国が示す早期

用語の解説 (主なもの)

- 【自主財源】… 町が自主的に収入できる財源
- 町税… 町民の皆さんに納めていただいた税金(町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税)
- 繰入金… 基金や特別会計から一般会計へ繰り入れたお金
- 繰越金… 前年度から繰り越したお金
- 【依存財源】… 国や県から交付される財源など
- 地方譲与税等… 国税として徴収した租税を国が一定基準により町に譲与する地方譲与税の他、地方消費税交付金や自動車取得税交付金などの各種交付金
- 地方交付税… 国の所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税のそれぞれ一定割合の額が、基準に基づいて国から町へ交付されるお金
- 国庫・県支出金… 町が行う特定の事務事業に対して国(県)から交付される補助金、負担金、委託金など
- 町債… 事業などを行うために国や金融機関などから借り入れたお金

町の決算

一般会計歳入 106億4,870万円



決算の概要

平成22年度の身延町一般会計と22の特別会計が、9月定例議会でも慎重に審議され、認定されました。「安らぎと活力あるひらかれたまち」を将来像として、第一次総合計画や行政改革プランに基づき「地域で協働でつくる身延の町づくり」をスローガンとして新町発足後、事業を展開し、本決算は6年目を数えま

平成22年度の主な普通建設事業

【一般会計】	
●総務費	
地域情報通信施設(SCT)整備事業	1億7,375万円
●民生費	
飯富グループホーム介護施設開設補助事業	3,705万円
●農林水産業費	
農業用施設整備事業	5,718万円
林道改良整備・小規模治山事業	6,381万円
●土木費	
町道維持工事	9,253万円
町道改良舗装工事	1億1,333万円
●消防費	
耐震性貯水槽整備事業	4,921万円
●教育費	
身延小学校大規模改修事業	1億5,016万円
下部開発センター解体事業	3,213万円
下部リバーサイドパーク整備事業	4,093万円
【特別会計】	
●簡易水道事業特別会計	
身延中央簡易水道事業	1億8,532万円
下部簡易水道事業	2億5,351万円
●下水道事業特別会計	
身延処理区整備事業	4億456万円
下部処理区整備事業	6,815万円

した。皆様のご協力により、ほぼ全ての会計が黒字決算となりましたが、依然日本経済は先行き不透明であり、まだまだ、財政健全化に努めていかねばなりません。

一般会計の収支
歳入総額106億4,870万円から歳出総額97億5,968万円を差し引くと8億8,902万円の黒字となりました。

(翌年度へ繰り越すべき財源が1億2,188万円あるのが実質的な黒字は、7億7,684万円です。)

一般会計の歳入決算の状況

昨年と比べ歳入全体では2億7174万円の減額となりました。減額の要因としては、景気対策にともなう算定方法の改正により地方交付税が2億6千万円増額したのに比べて、定額給付金事業終了、地域活性化交付金減額による国庫支出金の5億9,595万円の減額、経済事情の影響を受けた地方税、諸収入の減額が大幅に上回ったことによるものです。

- 平成22年度末地方債残高
一般会計分 96億8,402万6千円(1人あたり64万9千円)
特別会計分 77億368万円(1人あたり51万6千円)
 - 平成22年度末基金残高
一般会計分 46億2,068万7千円(1人あたり30万9千円)
- ※1人あたりの金額は、14,921人(H23.3.31現在人口)によります。

一般会計・特別会計の状況

会計名	歳入金額	歳出金額	歳入歳出差引額
一般会計	10,648,703,468	9,759,681,408	889,022,060
特別会計	6,317,558,719	6,275,441,494	42,117,225
国民健康保険特別会計	2,012,994,984	2,009,877,315	3,117,669
老人保健特別会計	7,526,428	7,526,428	0
身延町後期高齢者医療特別会計	445,595,172	445,398,832	196,340
介護保険特別会計	1,976,407,129	1,944,078,924	32,328,205
介護サービス事業特別会計	6,644,993	5,917,200	727,793
簡易水道事業特別会計	918,879,295	918,398,925	480,370
農業集落排水事業等特別会計	33,964,285	33,769,645	194,640
下水道事業特別会計	859,442,550	858,305,750	1,136,800
青少年自然の里特別会計	42,861,178	42,861,178	0
下部奥の湯温泉事業特別会計	7,905,755	6,765,525	1,140,230
大八坂及び川尻並びに山之神外十五山恩賜林保護財産区	416,079	277,881	138,198
広野村上外九山恩賜林保護財産区	1,014,737	698,029	316,708
第一日影みそね沢恩賜林保護財産区	199,537	72,584	126,953
第二日影みそね沢及び石原外二山恩賜林保護財産区	190,936	134,823	56,113
大久保外七山恩賜林保護財産区	504,135	112,145	391,990
仙王外五山恩賜林保護財産区	417,257	230,261	186,996
姥草里外七山恩賜林保護財産区	801,922	495,866	306,056
入ヶ岳外二山恩賜林保護財産区	525,459	208,000	317,459
西嶋財産区	528,010	121,230	406,780
曙財産区	182,716	1,540	181,176
大河内地区財産区	306,389	122,613	183,776
下山地区財産区	249,773	66,800	182,973
合計	16,966,262,187	16,035,122,902	931,139,285

健全化基準を下回っており良好であり、高い比率であり、厳しい財政状況には変わりありません。引き続き歳入

では自主財源の確保を図るため、町税等の徴収率向上に一層の努力をし、歳出においては経常経費の削減に努めてまいります。